

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
特別講義 3											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選択	種別	講義	時間数	60	単位	4
担当教員	長濱和久			実務 経験	有	職種	ディレクター/プロデューサー				
担当教員紹介											
長濱：放送業界で製作業務に従事していた ディレクター・プロデューサー											
授業概要											
通年のスケジュールが確保できず、なかなか学校に来ていただけない業界の一線で働く方々のお話を聞く。その業界の未来や、必要とされる人材についてなどの情報を得て、将来設計に役立てることが目的である。											
到達目標											
映像業界の現状を理解し将来の目標をより明確にする。											
授業方法											
講師が関わった映像や、パワーポイント資料を使いながら講義を進行する。											
成績評価方法											
成果発表 平常点	50% 50%	授業時間内に行われる発表方法、内容にて評価 積極的な授業参加度、授業態度を総合的に評価									
履修上の注意											
授業時数の 4 分の 3 以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
教科書教材											
資料配布											
回数	授業計画										
第1回	映像制作会社総務部勤務の方①			業界の社会保障や労働の実際を知る①（大手編）							
第2回	映像制作会社総務部勤務の方②			業界の社会保障や労働の実際を知る②（中小企業編）							
第3回	フリーランスの働き方①			企業に属さない働き方のメリットとデメリットを知る①（テレビ編）							
第4回	フリーランスの働き方②			企業に属さない働き方のメリットとデメリットを知る①（映画編）							
第5回	業界OBOG逆訪問①（テレビ制作）			本来はこちらから訪問すべき一線で働く OBOG に、学生を訪問して現状を話していただく①							

2022年度 日本工学院専門学校		
放送芸術科		
特別講義 3		
第6回	業界OBOG逆訪問②（映画制作）	本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく②
第7回	業界OBOG逆訪問③（美術・道具）	本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく③
第8回	業界OBOG逆訪問④（カメラ）	本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく④
第9回	業界OBOG逆訪問⑤（照明）	本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく⑤
第10回	業界OBOG逆訪問⑥（DITカラコレ）	本来はこちらから訪問すべき一線で働くOBOGに、学生を訪問して現状を話していただく⑥